

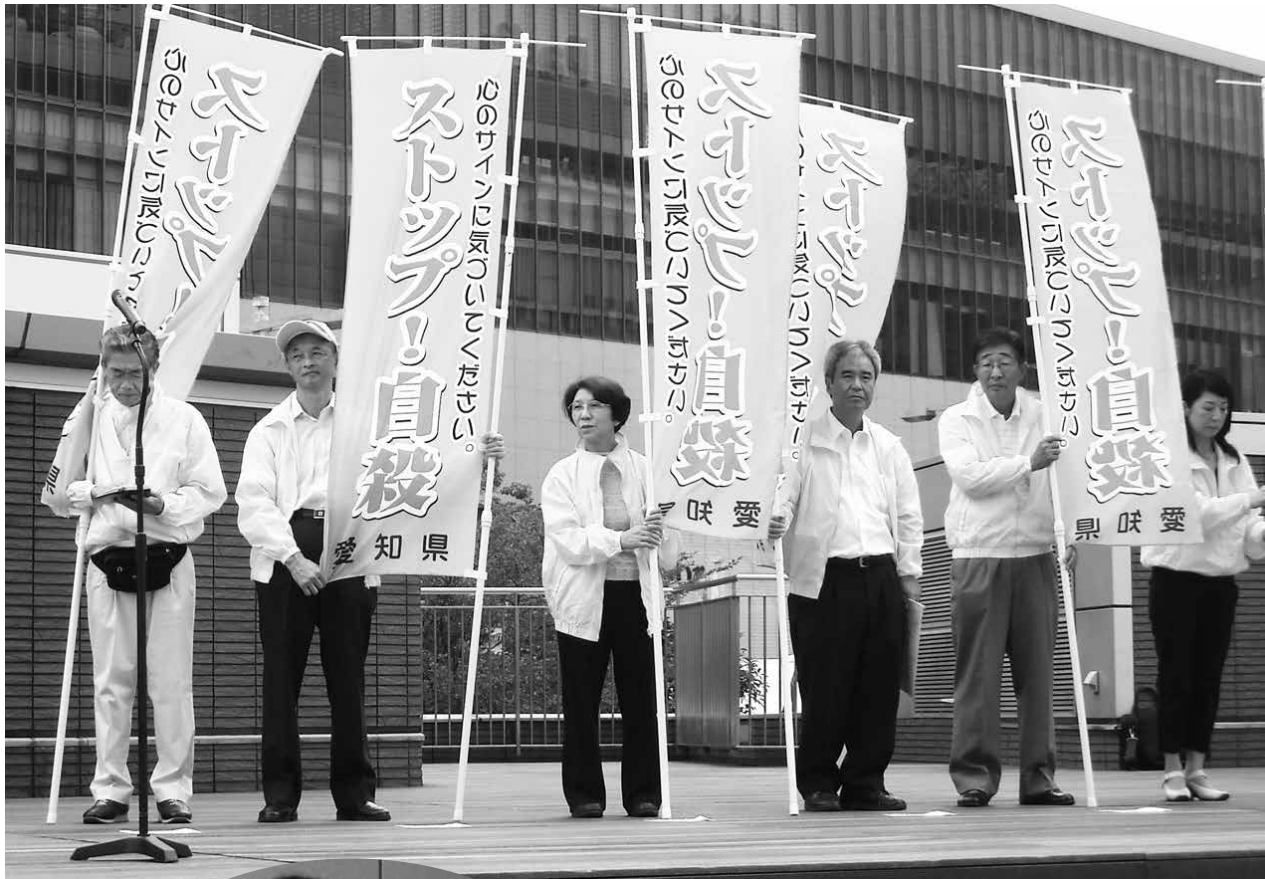


社会福祉法人愛知いのちの電話協会

名古屋いのちの電話

<http://www.nagoya-inochi.jp/>

9月10日 世界自殺予防デー



ステージ上の県内諸団体



自殺予防キャンペーン
愛知県副知事 吉本明子さん

9月10日愛知県の呼びかけで自殺予防にかかわる県内の団体が名古屋駅前で自殺予防キャンペーンを行いました。愛知いのちの電話協会も毎回参加しています。

世界自殺予防デーとは：2003年にスウェーデンのストックホルムでWHO（世界保健機関）と国際自殺予防学会（IASP）が共同で開催した世界自殺防止会議で『自殺に対する注意・関心を喚起し、自殺防止のための行動を促進するのが目的』として制定されました。

愛知いのちの電話協会 創立記念日感謝の集い

日差しが強くなり始めた初夏、2013年7月1日に社会福祉法人愛知いのちの電話協会は、創立28周年目を迎えました。1日も休まず28年間、相談員が電話の前で待機することができました事は感慨深いものがあります。これも、賛助会員の皆様や寄付でご協力をいただいた皆様のおかげと感謝をいたしております。

このたび、その感謝の気持ちとお礼を込めまして「愛知いのちの電話協会創立記念日感謝の集い」が7月1日夕刻よりKKRホテル名古屋、福寿の間にて開催されました。

大村秀章愛知県知事、岩城正光名古屋市長、平井宏和愛知県弁護士会副会長を来賓にお迎えし、多数の法人の方々をご招待いたしました。

皆様、お忙しい中をご出席頂き、はげましのご挨拶を頂き、本当に有り難く思いました。

当協会の小山勇理事長からは創立以来28年の経緯と寄付をいただいた感謝、そして今後のお願いを申しあげました。



学校法人金城学院学院長の柏木哲夫様に乾杯の音頭を取っていただいた後は、名刺交換や会話ははずみ、楽しく食事もいただき集いが進みました。

途中、評議員のひとりの朗読が始まり、ゆったりとしっかり語る朗読に目をとじて聴きいっておられる方もいらっしゃいました。

《余命》という題で、「つらい思いの少女は電話で寄り添ってくれた見知らぬ少年に救われ、その少年は少女に寄り添う事で病気で死を直面している自身を支えていた。」という内容でした。

その後も招待の方々や当関係者からも快くお話を伺うことができ、なごやかになっていきました。

終盤、大村秀章愛知県知事がかけつけて下さり、会はさらに盛り上がり、より深いものになりました。

最後に出席者全員で「世界に一つだけの花」を大きな声で合唱し、支え合って行こうという思いを強くしました。そのあと、当協会の鈴木郁雄理事からの閉会の挨拶で、「感謝の会」を無事終えることができました。

ささやかな手作りの会で失礼もありました事をお許し頂きたいと思えます。

楽しかったというお声もあり嬉しく思い、関係者一同、開催して良かったなと思えました。

ご出席して下さいました皆様、有難うございました。

(事務局スタッフ)



大村愛知県知事

私と いのちの電話

21期認定式に出席し、自分が相談員として認定された時を懐かしく思い出した。それから20数年、いのちの電話の相談員であることが、自分のこれまでの人生でとても大きな位置を占めていて、今の私の活動の原点であると確信した。学び続けるという意識を持ち続けられたのはいのちの電話の大きな魅力の一つだと思う。いのちの電話はどの年代でも、人との関わりの中で学ばせて頂け、自分のあり方をいつも問われていると感じる事の出来る貴重な活動だと思う。長い相談活動の道のりで、多くの先生方に出会うことが出来、親しく教をいただいたこと、何でも話せる友と出会えたことも、相談員を長く続けられた理由の一つである。利用者との出会いは一期一会と言いながらも、今どうされているのか気にかかる方も何人もいるが、きっとそれぞれ自分の人生を生きておられるのだろうと思い巡らすこともある。いのちの電話に関わってたくさんの財産をいただいた。(K・K)

創立記念

名古屋市副市長 岩城正光さんごあいさつ



岩城名古屋副市長

社会福祉法人愛知いのちの電話協会におかれましては、自殺予防をその使命として1985年7月1日に創立され、28年の長きにわたり。さまざまな問題を抱えて孤独と不安に苦しみ、悩み、生きる力を失いかけている人々を支援するための電話相談を続けてこられました。

これもひとえに小山理事長をはじめ役員の皆さま、事務局、そして多くの相談ボランティアの皆様方の熱意と献身的な活動によるものでございまして、心から敬意を表する次第でございます。

また、日頃は、年中無休24時間体制での電話相談活動にとどまらず、公開講座の開催や市民への啓発活動など様々な活動を通じて、市民の自殺予防と、名古屋市における自殺対策の推進に多大なる貢献を頂いておりますことに心から感謝を申し上げます。

さて、昨年の自殺者は15年振りに3万人を下回りましたが、名古屋市におきましては、平成24年の人口動態統計における自殺者数が407人でございまして、前年比で71人減少しているものの、依然として400人を超える極めて深刻な状況が続いております。

自殺は、本人にとってこの上ない悲劇であるだけでなく、家族や周りの人々に大きな悲しみと生活上の困難をもたらし、社会全体にとっても大きな損失です。

私は昨年11月に、名古屋市の姉妹友好都市でありますロサンゼルスを訪れ、SPIN（今すぐ自殺予防介入を）と呼ばれる組織を訪問しました。

SPINの具体的な活動内容としては、例えば、SPINを構成するさまざまな安全な機関や相談

窓口をホームページ等で紹介し、「悩んでいるなら援助を求めている」とか「他人に悩みを打ち明けていい」というメッセージを送る活動、学校からの求めに応じて、教員に対する教育的な研修というサービスを提供する活動、あるいは、直接、若者の家族への介入を行う活動がありました。

SPINは自殺防止の新たなシステムを作るのではなく、既存のシステムや組織をうまく活用していくことを目指しておりますが、名古屋市におきましても、全市的に自殺対策に取り組むための全庁的な組織や、愛知いのちの電話協会様を始めとする、自殺に関する様々な官民団体とネットワークを構築するための会議を開催しているところです。

平成24年における人口10万人あたりの自殺者数を示す自殺死亡率は、名古屋市においては18.0で全米の自殺率の2倍に近い状況であるという違いはありますが、ロス市においても日本と同様に、若者に対する自殺対策を重視している点において、今回の視察は、名古屋市の自殺対策を考える上で、有意義な視察であったと思います。

今後とも関係機関の皆さまと緊密な連携を図りながら、誰も自殺に追い込まれることのない社会の実現を目指し、全市を挙げて自殺対策に取り組んでまいりますので、引き続きお力添えくださいますようお願い申し上げます。

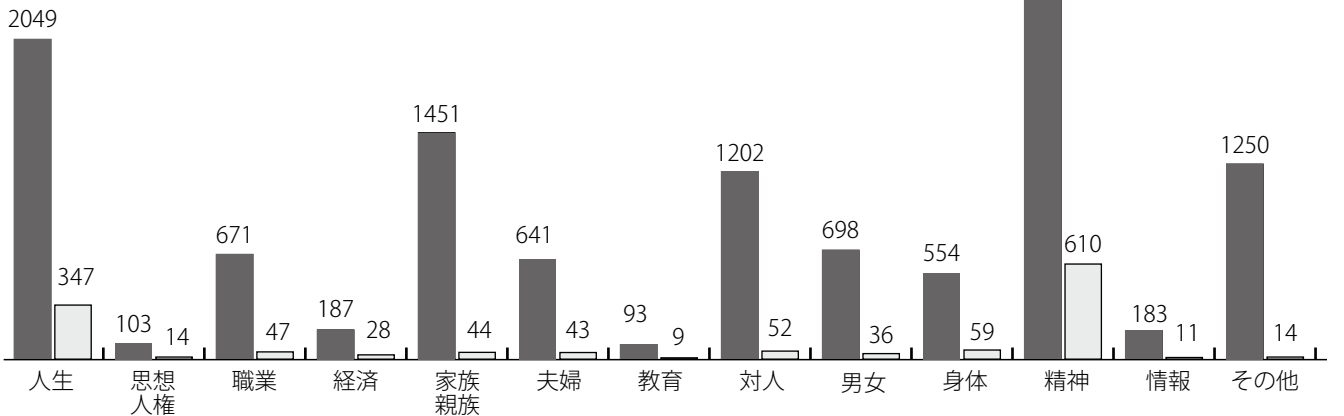
最後に、愛知いのちの電話協会がますますご発展されますことを祈念し、また、本日お集まりのみなさまのご健勝と今後ますますのご活躍をお祈りいたしまして、私からのご祝辞とさせていただきます。

2013年1月～8月受信状況ご報告

通常・自殺予防・震災ダイヤル

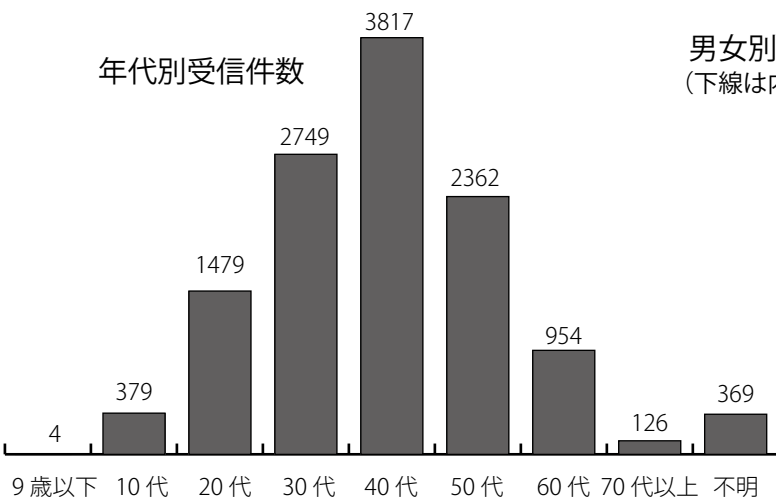
総件数 計 12,239 件
内自殺傾向 計 1,414 件

内容別受信件数

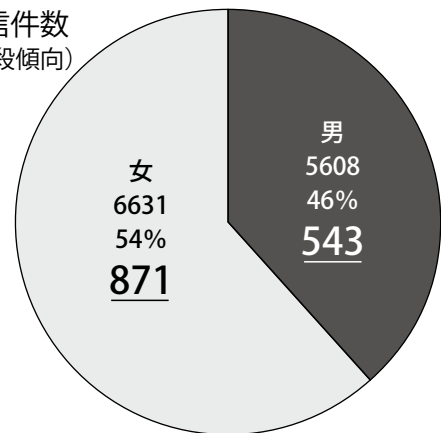


2013年1月から8月の通常ダイヤル・自殺予防・震災ダイヤルの総合計です。内容は心を病んだ相談が年々増えています。年代別利用状況は30代40代が全体の約54%を占めています。

年代別受信件数



男女別受信件数 (下線は内自殺傾向)



年代別主な相談内容 (左より多い順)

10代	家族	身体	精神
20代	精神	人生	男女
30代	精神	人生	対人
40代	精神	人生	家族
50代	精神	人生	家族
60代	人生	精神	家族
70代	人生	精神	家族

ご報告

東日本大震災の被災者の悩みに無料で応じてまいりました「日本いのちの電話 震災ダイヤル」は2013年9月末をもちまして終了いたしました。名古屋いのちの電話も全国のセンターと共に2年半の活動をおこないました。震災ダイヤル送受信件数は約4万件です。

新しい相談員 誕生

この秋、一年半に渡る養成講座を終えた新たな相談員の認定式が行われました。

養成講座では、いのちの電話の精神に始まり、聴くことの大切さや心の病の理解など電話相談員として必要なことを広範囲に学んできました。宿泊研修では、仲間との絆を深めることができたのでは・・・後半は、より実際に即した講義やトレーニングを行ってきました。

野村純一理事より一人一人に認定証が授与されました。緊張した面持ちの中にも相談員として精一杯やろうという気持ちが伝わってきました。

その後、歓迎会が行われました。来賓の先生方からのお祝いの言葉の後、お一人お一人に抱負を語っていただきました。手作りお菓子を摘みながらの楽しい語り合いをしました。最後に、オカリナの伴奏でビリーブの全員合唱。

温かい雰囲気の中で相談員として意欲と覚悟ができたのではないのでしょうか。

抱 負

- ・細く長く続けたい
- ・不安や問題は先輩と相談しながらやっていく
- ・皆さんとの良い関係作りを大切にしたい
- ・関わる方々とのつながりの中で頑張りたい
- ・ボランティアを通して、自己啓発に努めたい
- ・一本一本の電話を大切にしたい
- ・利用者さんから勉強させていただく
- ・先輩方に指導を仰ぎつつ頑張りたい
- ・考えすぎず一回一回の電話を丁寧に聴きたい
- ・心身の調整をし勉強し続ける気持ちを持つ
- ・研修で学んだことを実践に活かしていきたい
- ・電話を取りながら自己の成長をする
- ・学んだことを忘れず決まりを守る
- ・まずは3年、できる限り相談員を続ける
- ・知らない世界があるから不安
- ・重たい内容のとき、自分も気持ちをどう整えていくのか

老爺心から一言

養成委員 関口純一

21期生が新たに仲間に加わることになりました。この仕事は大変で、ご本人の苦労はもちろん、周囲の方々の理解や協力がないと続けられません。相談の仕事はとても意義のあることですが、それに参加できるのも周囲の援助があればこそ、という気持ちを絶対忘れないで下さい。ご負担をおかけしますが、それらを巡っての遣り取りが、周囲との新たなよい関係を築くきっかけにして下されば、と思います。

実はこれは「いのちの電話」でも同じで、言葉の遣り取りを通じて、相手の変化を期待します。こちらは遣り取りと言っても傾聴に徹するのですが、説得などではなく、穏やかで配慮に満ちた遣り取りが人を変え、人が変わるということを養成講座から学んで頂いたと思いますが、それが身につけば、相談技術だけではなく様々な「余禄」があるはず。したがって「いのちの電話」は無償ではなく、「見返り」のあるボランティアであると私は思っています。

第23期電話相談ボランティア養成講座 募集のご案内

募集期間

2014年2月1日(土)～3月30日(月)

養成期間

前期 2014年4月～2014年9月
後期 2014年11月～2015年2月

問い合わせ先 愛知いのちの電話事務局

TEL 052-508-8381

ホームページ: <http://www.nagoya-inochi.jp/> Eメール: info@nagoya-inochi.jp

ご援助ありがとうございます

2013年6月1日より9月30日までに下記の方々から暖かいご支援をいただきました。一同深く感謝いたしますと共に報告を申し上げます。(順不同・敬称略)

なお、上記期間内に何度もご寄付くださった方もお名前は1回にさせていただきます。

社会福祉法人愛知いのちの電話協会 理事長 小山 勇／財務委員会

賛助会員 A

大野智彦 長岡利貞 八木武志 會澤俊三 興徳寺・佐久間順敬 檜尾一 石田義人 梨本将代 志村信夫
下村徹嗣 水谷宣美 白田治子

賛助会員 B

新見純子 河野登喜子 諏訪昭子 大森正樹 森岡諭 菅和也 青山玄 笠井康助 平尾泉 加藤順子
吉村恵子 坂東信吾 豊島徳三 今枝靖夫

賛助会員 C

中出智恵子 加藤武 五藤昭子 山崎京子 中谷塩子 鈴木美登里 小瀬木尚美 寺田弘子 志村澄江
近藤道枝 田中良子 飯塚重五郎 佐藤尚江 山下タカ子 亀山千恵子

法人会員

専念寺 東和不動産株式会社 法蔵寺・小笠原覚 株式会社みどり造園 株式会社サンゲツ
株式会社青山製作所 豊田合成株式会社 杉山工業株式会社 株式会社オティックス ホーユー株式会社
黒金化成株式会社 株式会社交輪社 大須観音寶生院

寄付・個人

今井謙吾 山崎由美子 水野恵美子 伊藤美佐子 宮里及子 末本まき 榎本正子 森川信子 真柄周吾
神谷史 村瀬政子 秋田あや子 宮内英夫 松本勝正 小枝清子 鈴木栄子 鈴木豊 深谷久美子 牛嶋敦子
松岡朱美 岩田圭子 杉藤はる子 柳澤幸輝 太田立男 山本千恵 岡崎和子 相馬幸子 下村明子
小川邦泰 井坂津矢子 石原容子 星野満里子 伊藤総俊 松井明美 永井玲子 福原満江 澁澤治子
岡本博子 石田きく江 西山えつ子 高木繭子 酒井誠 鰐部和平 シミズサトシ 伊藤恵美子 渡辺直人
島田吉枝 水谷吉子 後藤進 下村徹嗣 岩田邦子 坂東信吾 榎本久美江 服部由美 加藤倫子 小野宏
木村剛 滝順子 子安崇雄 関田寛雄 吉田郁子 大島節子 豊田江美 岩田久夫 川原恵 村井みほ
高本香代子 岩佐敏志 大澤一矢 中原眞澄 藤井直哉 野村眞徳 加藤みゆき 常富佳子 遠山千寿子
小澤きぬ江 森宣子 尾陽教会気付 島田吉枝 京ヶ峰岡田病院 岡田庸男 匿名7件

寄付金・協力団体

愛知西地区婦人会連合・萩野壽子 近江屋 永澤寺・岡島博司 ベルの会
宗教法人カトリック聖霊奉侍布教修道女会 栄冠こども園 川名山聖霊修道院
日本キリスト教団南山教会婦人会

**クリスマス・年末
特別寄付のお願い**

本年もまもなく、クリスマス・年末の季節をむかえようとしています。
例年この時期には「いのちの電話」の活動のために、特別寄付金を募って
おります。今年も何卒よろしくご協力をお願いいたします。

送金先：三菱東京 UFJ 銀行大津町支店（普）477029
郵便振替口座 00810-8-53758
口座名：社会福祉法人 愛知いのちの電話協会

相談員 1 泊研修会

7月初旬 犬山市

経験年数別で約20名の相談員とスタッフが参加しました。

今回の1泊研修は、愛知県の補助事業として企画され、「愛知いのちの電話協会名古屋いのちの電話」としては初めての取り組みでした。

相談員同士の親睦を兼ね、楽しく充実した時間を共有することができ、有意義な研修となりました。



研修1

長尾ひろの先生による
講義と実習

『もし自分が“いのちの電話”にかけたとしたら、
こういう相談員と出会いたい』

- 1 自分を大切にしてくれる人
- 2 気持ち・立場を理解してくれる人
- 3 力を引き出し、気づかせてくれる人

初心・基本に返って丁寧に聞くこと、傾聴力を高めることなどを穏やかに丁寧に講義していただきました。「困っている相談例」では、熱心に意見交換がされました。

後日、長尾先生から「話を聴く技術よりも人間への理解を深めることの方が大切かもしれない。」とのメッセージをいただきました。

夕食後、懇親会「相談員を始めた頃、今の自分」全員で語り合いました。

その後は温泉のお湯にゆったり入ったり、遅くまでおしゃべりをしたりしながら過ごされました。

〈参加者の声〉

- *新鮮で初心に戻る思いでした。
- *濃く深みのある研修でした。
- *長尾先生のお話。ワーク、楽しかったです。
- *ゆったりとしたスケジュールで参加しやすかったです。
- *久しぶりの同期の集いや、相談員としての改まった研修に楽しく真剣に有意義な2日間を過ごすことができました。
- *講座や参加型の組み合わせでプログラムが組まれていたよかったです。
- *気持ちが解放されていくのを感じました。みなさんが深く「いのちの電話」と結びついている印象を強く受けることができました。
- *食事、温泉、静かで心が落ち着く雰囲気、よかったです。

研修2 『ロールレタリング』 「話し合いをしながら考える」

相談文例の返信文を考えてみる

- ①グループでシェアリング、返信文を仕上げる。
グループごとに、限られた時間内で返信文を考えました。さすが「いのちの電話相談員」。
- ②相談文を熟読し、主訴を確実に捉え、利用者の気持ちに寄り添った優しさあふれる内容となりました。

研修3 『セルフバック作り』

それぞれ用意された材料を用いて無言でセルフバックを作りました。たがいの思いを認め合い、共有できたことに、どなたも満足気でした。

友の会だより



基金の創設など 名古屋いのちの電話に基金（名称未定）を新たに設けてはとの話題がでています。

公的助成の将来が不明である以上、安定した基金は必須と考えます。遺産相続等の寄付を予定していますが、それには周到な準備が必要で、事務局と共に調査を進めたいと考えます。

また、図書室（準備室）を整備したいという意向は強いのですが、現況でどこに設置するのか難しく、今後とも話し合いを続けていくことになりました。

（長岡）

事務局だより

新しい相談員さんの加入もあり、事務局にも活気が出ています。互いに声をかけ合う姿が見られ、仲間が増えた喜びが感じられます。

広報カード配布

いのちの電話を必要としている人々に電話番号を広く知らせるため「広報カード」の配布を行っています。森村豊明会様よりの寄付金を活用して、カードを作成し、愛知県内の病院（内科）や諸施設に置いていただくようお願いに回っています。

昨年、自殺者数は15年振りに3万人を割りました。この減少傾向を確かなものにするために啓発活動にも一層力を入れていきたいと思ひます。

ベルの会だより

より仲間づくりを進めよう

今年度ベルの会では、さまざまな困難な状況乗り越えていくには相談員同士の絆を一層深めることが大切であると考え活動を進めています。

定例会では、具体的な案を出し合いできることから取り組んでいます。例えば、「積極的に声をかけよう」「談話スペースの充実」「継続研修をより親睦を深める場にしよう」などなど。

今後も知恵を出し合い仲間づくりを進めていきたいと思ひます。

交流会では

9月下旬：継続研修の先生を交えて、楽しい一時を過ごしました。いのちの電話への想いを語り合うとともに、先生方の素顔に接することもできました。

10月中旬「散策会」：町並み保存地区である文化のみちを和気藹々と歩き話が弾みました。



賛助会員を募集しています

ご協力をお願いします

社会福祉法人として寄付金の税法上優遇措置が受けられます。誠に失礼ですが振込票を同封させていただきます。ご利用くだされば幸いです。

- (1) 法人会費 年間5万円・10万円・20万円
- (2) 賛助会員（年間1口） A 10,000円 B 5,000円 C 3,000円
- (3) 一般募金はご自由な金額で結構です
- (4) 夏期及び歳末寄付の特別募金

口座名 社会福祉法人愛知いのちの電話協会 口座番号 三菱東京UFJ銀行大津町支店（普）477029
郵便振替口座 00810-8-53758

社会福祉法人愛知いのちの電話協会

2013年11月

〒461-8691 名古屋東郵便局 私書箱第257号

事務局 ☎ 052-508-8381 FAX052-508-8384

<http://www.nagoya-inochi.jp/> E-Mail info@nagoya-inochi.jp

相談電話 ☎ 052-931-4343 携帯相談電話 NTT ドコモ東海「# 9556」

2013年11月1日発行

発行人 小山 勇

編集人 愛知いのちの電話

協会事務局